

2026年グローバル インフラインデックス

29か国調査、2026年4月24日～5月8日

グローバルサマリー

提携先:



主な調査結果



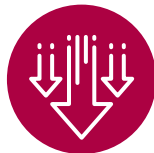
世界市民の全体的な満足度は概ね横ばい

世界各国平均を見ると、自国のインフラに満足していると答えたのは10人中4人(38%)で、近年とほぼ同水準です。10人中3人(30%)は満足していません。3分の1は「どちらとも言えない」(29%)か「分からない」(3%)と回答しています。



インフラ投資の経済・環境面での効果が広く認識されている

10人中7人(72%)は、投資が雇用を創出し、経済を活性化すると考えており、10人中6人(59%)は、投資が気候変動対策に重要な貢献を果たすと考えています。しかし、4分の3(75%)の人々にとっては、維持管理への投資も、新しいインフラへの投資と同じくらい重要であると考えています。



一部のG7諸国で最も顕著な低下

2024年から2026年にかけて、英国とドイツ(いずれも11ポイント)、および米国(8ポイント)で満足度が低下しました。今年、国民が最も満足している国はシンガポール(74%)でしたが、ハンガリーはわずか16%、スペインは22%にとどまっています。



成果が得られるなら民間セクターの役割にも前向き

公共部門の資金不足という状況下で、70%の人が、必要な改善がもたらされるのであれば、民間セクターによる投資に賛成だと答えています。過半数は、民間セクターの資金が単独で、あるいは公共部門の資金と組み合わせることで、インフラがさまざまな面で改善される可能性が高いと考えています。



投資の優先順位は変化しており、国によって異なる

2026年においては、洪水防御の優先度は低下しています(おそらく、極端な洪水被害の発生が減少していることを反映しているものと思われます)。一方、鉄道の優先度は上昇しています。しかし、その優先順位にはかなりのばらつきが見られます。例えば、上水道・下水道は、南アフリカでは72%が選択しているのに対し、韓国ではわずか19%にとどまっています。



しかし、支出への意欲は限定的であり、インフラ整備の実現能力に対する信頼も低い

自国がインフラプロジェクトを適切に遂行してきた実績があると信じているのはわずか3分の1(34%)にとどまり、57%は自国がインフラ需要を満たすために十分な取り組みを行っていないと感じています。一方で、インフラ改善のために、増税や消費者負担の増加によって追加の財源を確保することを受け入れられると回答した人は38%にとどまっています。

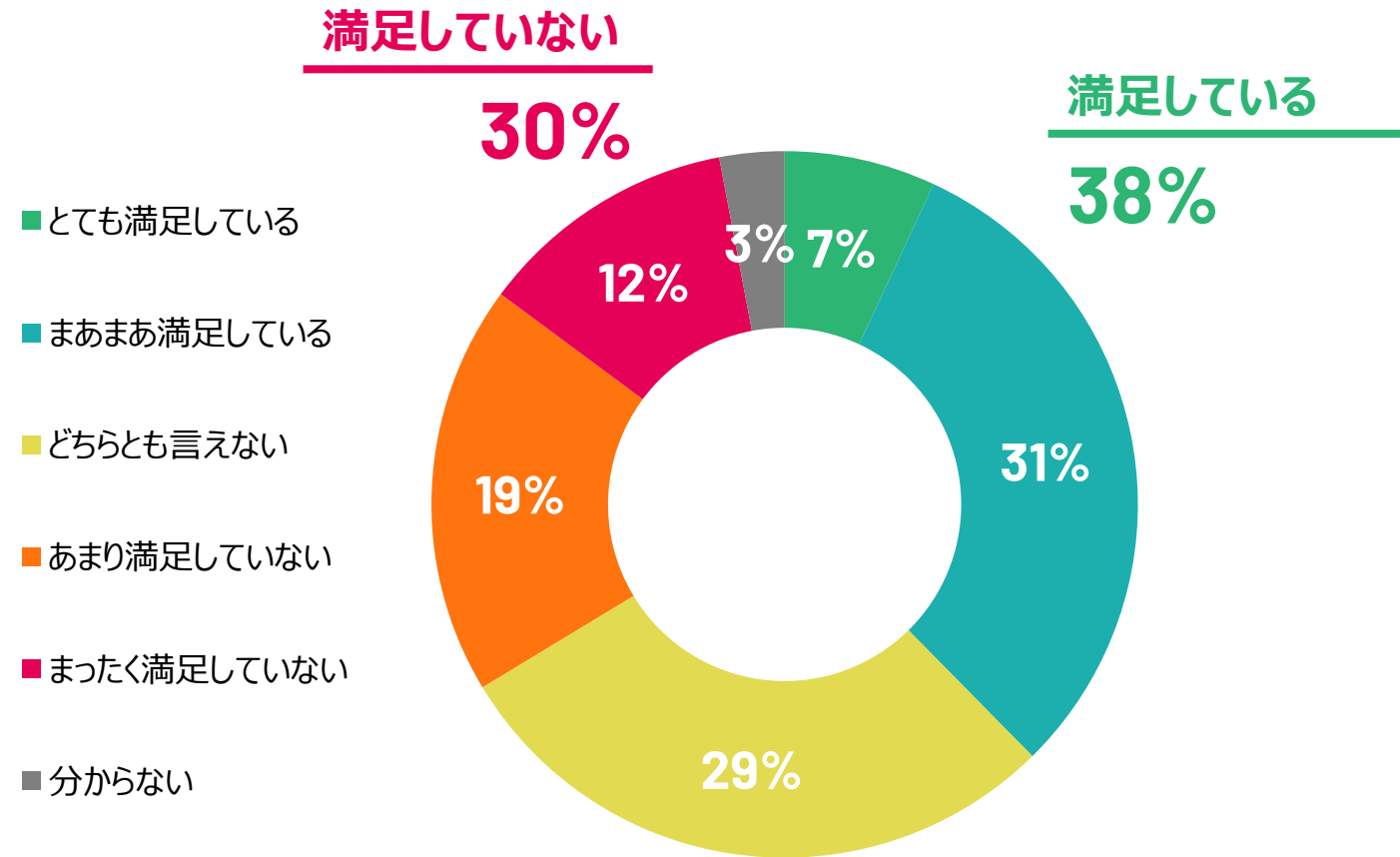
インフラ全体について、満足している人の割合は不満な人の割合よりも高いが、多くの方はよくわからないと答えている

Q. 次に、自国のインフラについてお考えいただけます。ここで言うインフラとは、道路網、鉄道網、空路網、電気や水などの公益事業、ブロードバンドやその他通信手段など、私たちが頼っているものを指します。

自国の国家インフラには、全般的にどの程度満足していますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

世界各国平均*



*注: 「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。各国・市場の人口規模に合わせて調整されておらず、全体の結果を示すことを意図したものではありません。調査対象国の数は時期によって変化しており、2016年は26か国、2024年は32か国、2026年は29か国となっています。

アジア太平洋地域では、満足度が比較的高い

Q. 次に、自国のインフラについてお考えいただけます。ここで言うインフラとは、道路網、鉄道網、空路網、電気や水などの公益事業、ブロードバンドやその他通信手段など、私たちが頼っているものを指します。

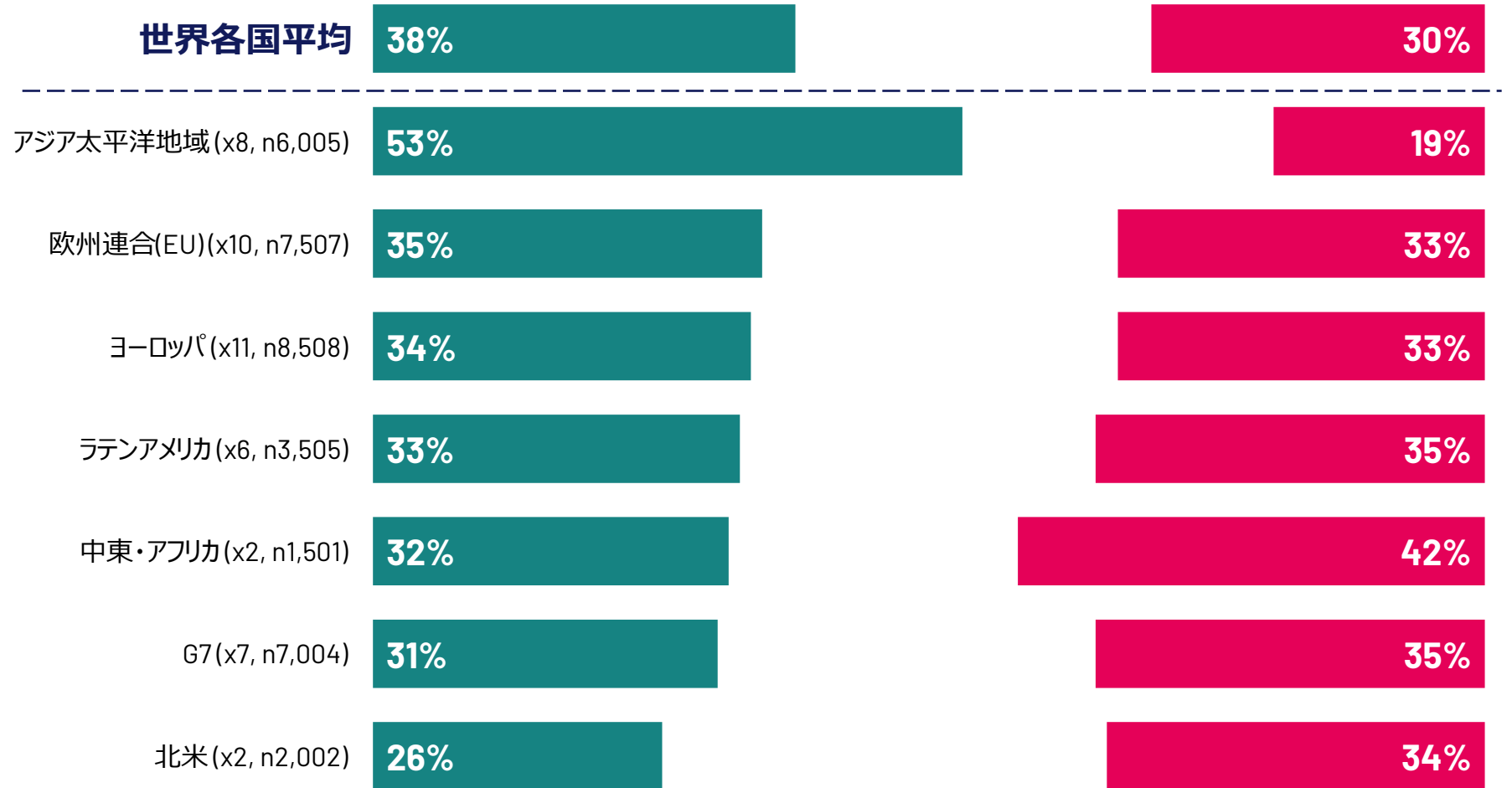
自国の国家インフラには、全般的にどの程度満足していますか。

地域分類に関する注記については、付録をご参照ください。各地域の対象国数および集計対象規模は()内に示されています。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月

■ とても/まあまあ満足している

■ まったく/あまり満足していない



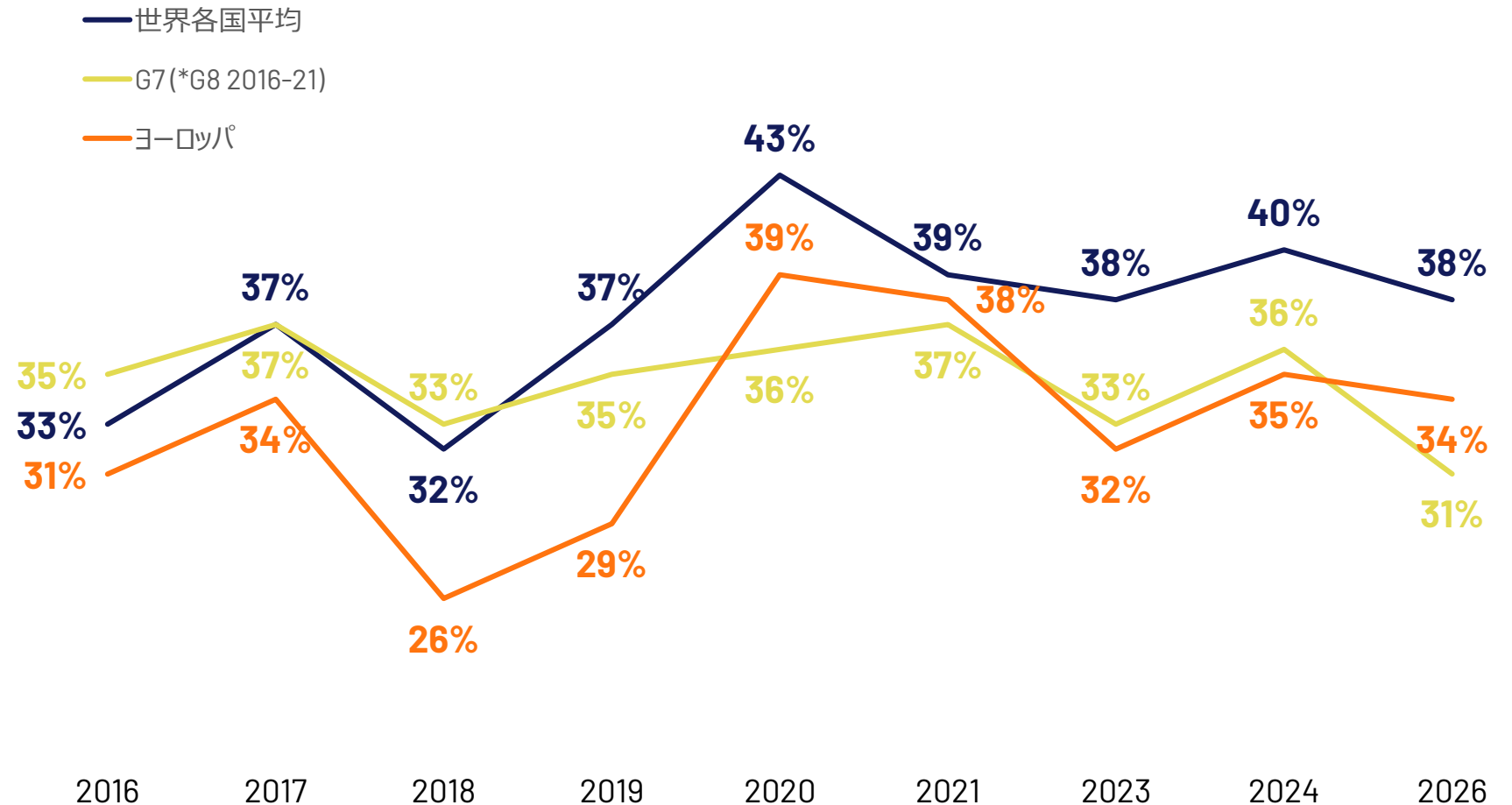
2018年には世界平均の満足度が低下したが、パンデミック初期には回復したものの、その後2019年の水準まで再び低下し、それ以降はほぼ横ばいの状態が続いている

Q. 次に、自国のインフラについてお考えいただけます。ここで言うインフラとは、道路網、鉄道網、空路網、電気や水などの公益事業、ブロードバンドやその他通信手段など、私たちが頼っているものを指します。

自国の国家インフラには、全般的にどの程度満足していますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月

「とても満足している」「まあまあ満足している」の割合



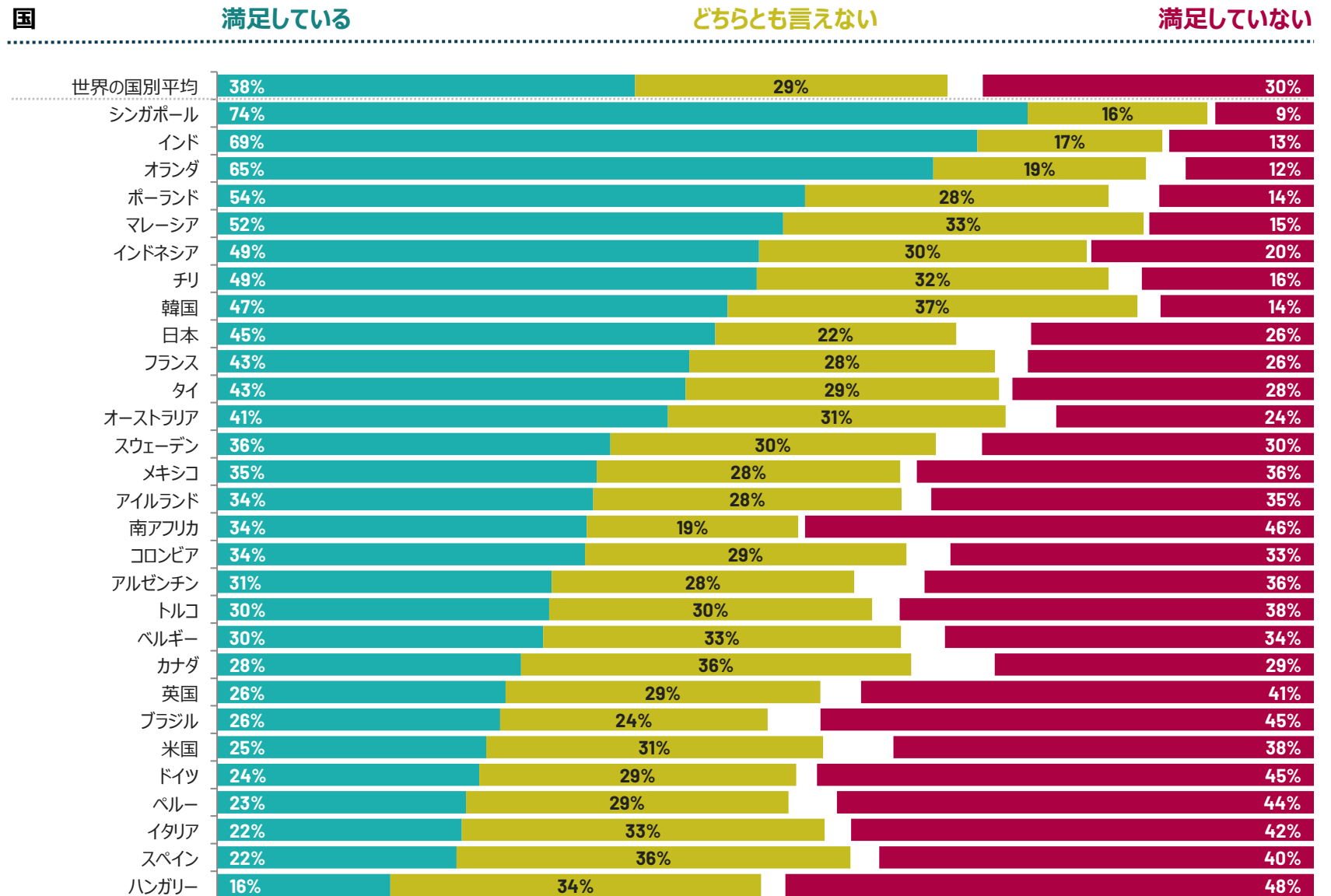
*注: 「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。各国・市場の人口規模に合わせて調整されておらず、全体の結果を示すことを意図したものではありません。調査対象国の数は時期によって変化しており、2016年は26か国、2024年は32か国、2026年は29か国となっています。

29か国間で満足度にはかなりのばらつきが見られる

Q. 次に、自国のインフラについてお考えいただけます。ここで言うインフラとは、道路網、鉄道網、空路網、電気や水などの公益事業、ブロードバンドやその他通信手段など、私たちが頼っているものを指します。

自国の国家インフラには、全般的にどの程度満足していますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

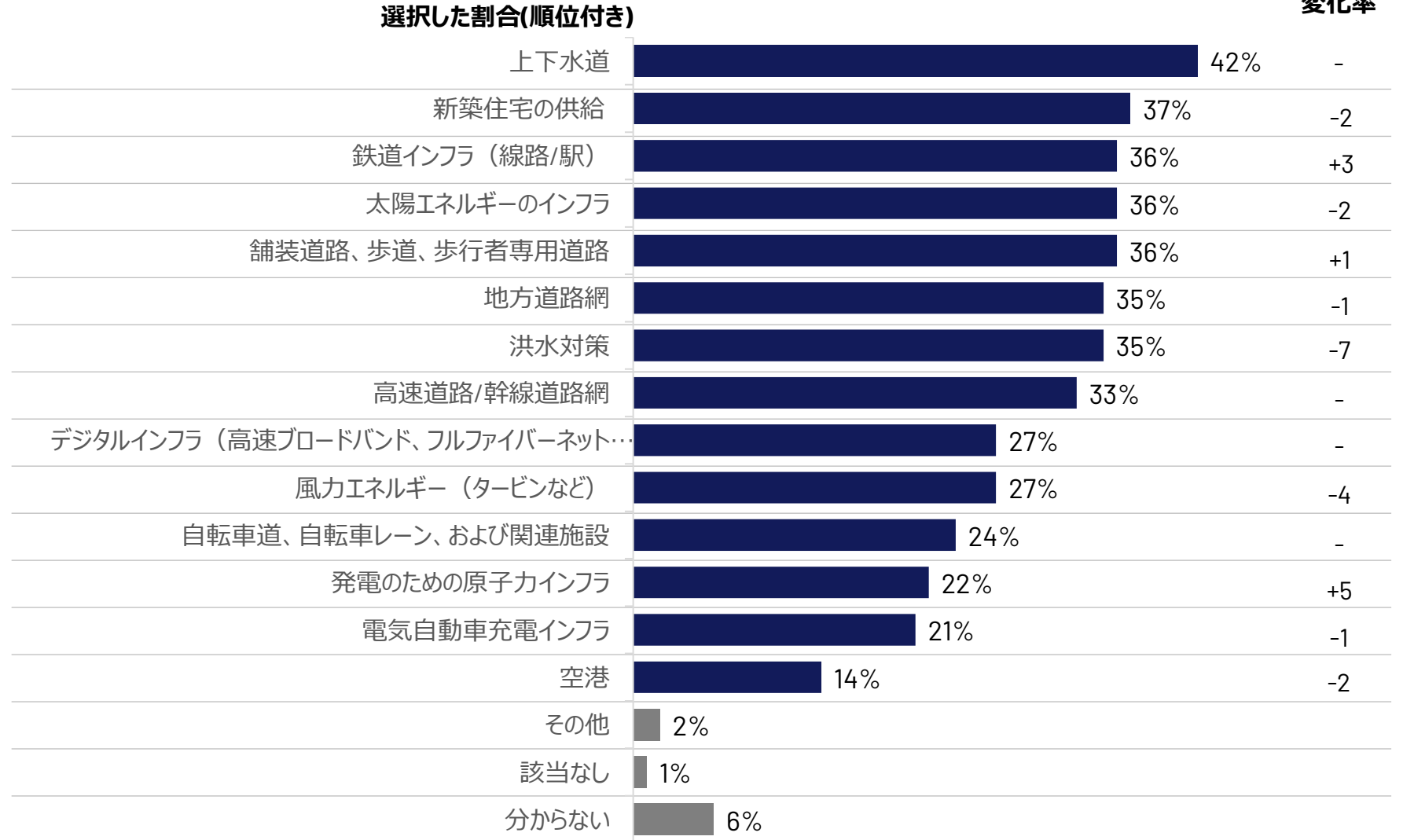


29か国全体では、水道・下水道が最も優先度の高い分野となっているが、他にも同程度に高い優先度とみなされている分野が複数ある

Q. 以下に挙げる種類のインフラのうち、自国のための投資において優先すべきものはどれだと思いますか。(当てはまるものをすべてお選びください)

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月

世界各国平均

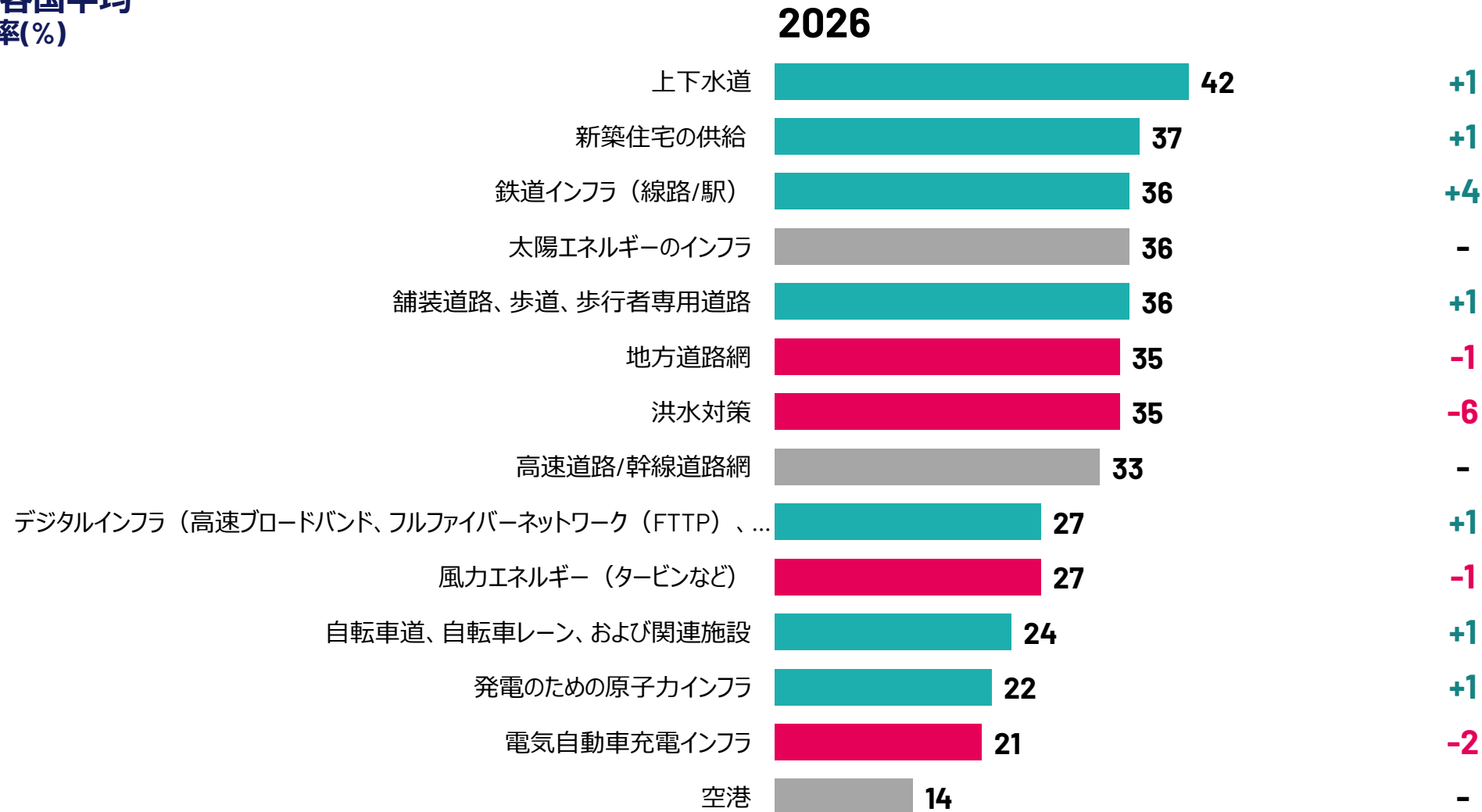


2024年(32か国)から2026年(29か国)にかけて、投資優先順位の順位に若干の変化が見られ、洪水対策から鉄道へと重点が移行している

Q. 以下に挙げる種類のインフラのうち、自国のための投資において優先すべきものはどれだと思いますか。

世界各国平均 選択率(%)

2024年との順位変動



対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月

*高速ブロードバンド、フルファイバーネットワーク（FTTP）、5G、データセンターなどのデジタルインフラ: 2026年にデータセンターが追加

対象: 成人23,530名(オンライン)、32か国、2024年5月~6月

出典: Ipsos/GIIA



投資の優先順位とその重要度は、国によって大きく異なる

- 世界各国平均より15%ポイント以上高い
- 世界各国平均より10%ポイント以上高い
- 世界国別平均より5%ポイント以上高い

Q. 以下に挙げる種類のインフラのうち、自国のための投資において優先すべきものはどれだと思いますか。

(選択率の高い順 - 世界各国平均)

セクター	世界平均	アルゼンチン	オーストラリア	ベルギー	ブラジル	カナダ	チリ	コロンビア	フランス	ドイツ	英国	ハンガリー	インド	インドネシア	アイルランド	イタリア	日本	マレーシア	メキシコ	オランダ	ペルー	ポーランド	シンガポール	南アフリカ	韓国	スペイン	スウェーデン	タイ	トルコ	米国
上下水道	42%	55%	32%	22%	55%	39%	42%	45%	32%	22%	52%	49%	54%	44%	32%	30%	44%	43%	64%	36%	60%	27%	37%	72%	19%	34%	42%	45%	37%	51%
新築住宅の供給	37%	45%	52%	29%	46%	50%	50%	46%	40%	51%	35%	31%	25%	23%	55%	27%	5%	26%	37%	58%	36%	38%	37%	52%	31%	21%	38%	30%	31%	34%
鉄道インフラ (線路/駅)	36%	41%	37%	26%	32%	23%	39%	31%	36%	45%	40%	64%	40%	27%	43%	41%	25%	32%	22%	31%	25%	35%	36%	43%	20%	58%	63%	37%	30%	31%
太陽エネルギーの インフラ	36%	35%	39%	28%	33%	28%	41%	42%	32%	33%	35%	39%	54%	27%	32%	40%	23%	33%	41%	35%	31%	27%	43%	52%	31%	29%	35%	47%	49%	38%
舗装道路、歩道、 歩行者専用道路	36%	41%	25%	42%	38%	28%	47%	43%	30%	35%	38%	50%	34%	41%	28%	37%	34%	31%	53%	25%	45%	36%	30%	41%	24%	29%	34%	45%	31%	35%
地方道路網	35%	24%	38%	45%	23%	43%	22%	29%	36%	44%	47%	64%	44%	40%	39%	45%	21%	31%	22%	25%	24%	44%	24%	50%	16%	32%	38%	39%	21%	43%
洪水対策	35%	52%	25%	29%	55%	24%	37%	40%	38%	25%	32%	28%	31%	50%	31%	38%	31%	47%	36%	19%	41%	35%	29%	37%	20%	38%	21%	61%	31%	29%
高速道路/ 幹線道路網	33%	36%	36%	39%	34%	37%	23%	41%	14%	36%	34%	46%	33%	28%	29%	37%	17%	44%	26%	30%	31%	35%	19%	35%	24%	53%	41%	24%	28%	38%
デジタルインフラ*	27%	21%	27%	15%	21%	19%	19%	26%	19%	33%	23%	19%	43%	39%	22%	23%	19%	48%	21%	18%	23%	28%	38%	35%	27%	19%	25%	43%	36%	23%
風力エネルギー (タービンなど)	27%	25%	26%	25%	21%	27%	28%	23%	21%	30%	36%	39%	33%	14%	33%	32%	18%	18%	27%	25%	17%	32%	17%	30%	16%	22%	34%	29%	42%	29%
自転車道、自転車レーン、 および関連施設	24%	28%	14%	34%	27%	16%	27%	21%	25%	35%	15%	36%	25%	16%	18%	21%	31%	18%	19%	34%	24%	30%	23%	18%	15%	15%	32%	29%	28%	16%
発電のための 原子力インフラ	22%	16%	19%	26%	14%	22%	12%	13%	31%	17%	30%	16%	33%	14%	15%	26%	22%	19%	17%	22%	14%	30%	19%	31%	28%	22%	34%	16%	35%	26%
電気自動車充電 インフラ	21%	13%	26%	19%	16%	20%	22%	21%	22%	24%	22%	15%	44%	20%	27%	17%	11%	25%	16%	21%	10%	13%	25%	26%	25%	17%	24%	31%	27%	17%
空港	14%	13%	14%	8%	12%	14%	13%	20%	5%	6%	11%	8%	26%	11%	18%	8%	8%	17%	13%	6%	17%	16%	23%	19%	7%	13%	15%	15%	19%	26%

*全文: 高速ブロードバンド、フルファイバーネットワーク (FTTP)、5G、データセンターなどのデジタルインフラ

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月



地域レベルで優先すべきインフラを考えると、道路インフラの優先度は相対的に高くなる一方、鉄道インフラの優先度は相対的に低くなる

Q. 以下は、先ほどと同じインフラの一覧です。これらのうち、あなたの居住するエリアや地域で投資を優先すべきものがあるとすれば、それはどれだと思いますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

世界各国平均

	選択した割合(順位別)	国の優先順位との差(%)	全国優先順位との順位差
地方道路網	34%	-1	+5
上下水道	32%	-10	-1
新築住宅の供給	31%	-6	-1
舗装道路、歩道、歩行者専用道路	30%	-6	+1
太陽エネルギーのインフラ	25%	-11	-1
鉄道インフラ(線路/駅)	24%	-12	-3
洪水対策	24%	-11	-
高速道路/幹線道路網	22%	-11	-
自転車道、自転車レーン、および関連施設	20%	-4	+2
デジタルインフラ(高速ブロードバンド、フルファ...	19%	-8	-1
風力エネルギー(タービンなど)	15%	-12	-1
電気自動車充電インフラ	15%	-6	+2
発電のための原子力インフラ	12%	-10	-1
空港	9%	-5	-
分からない	7%		
該当なし	2%		
その他	1%		

出典: Ipsos/GIIA

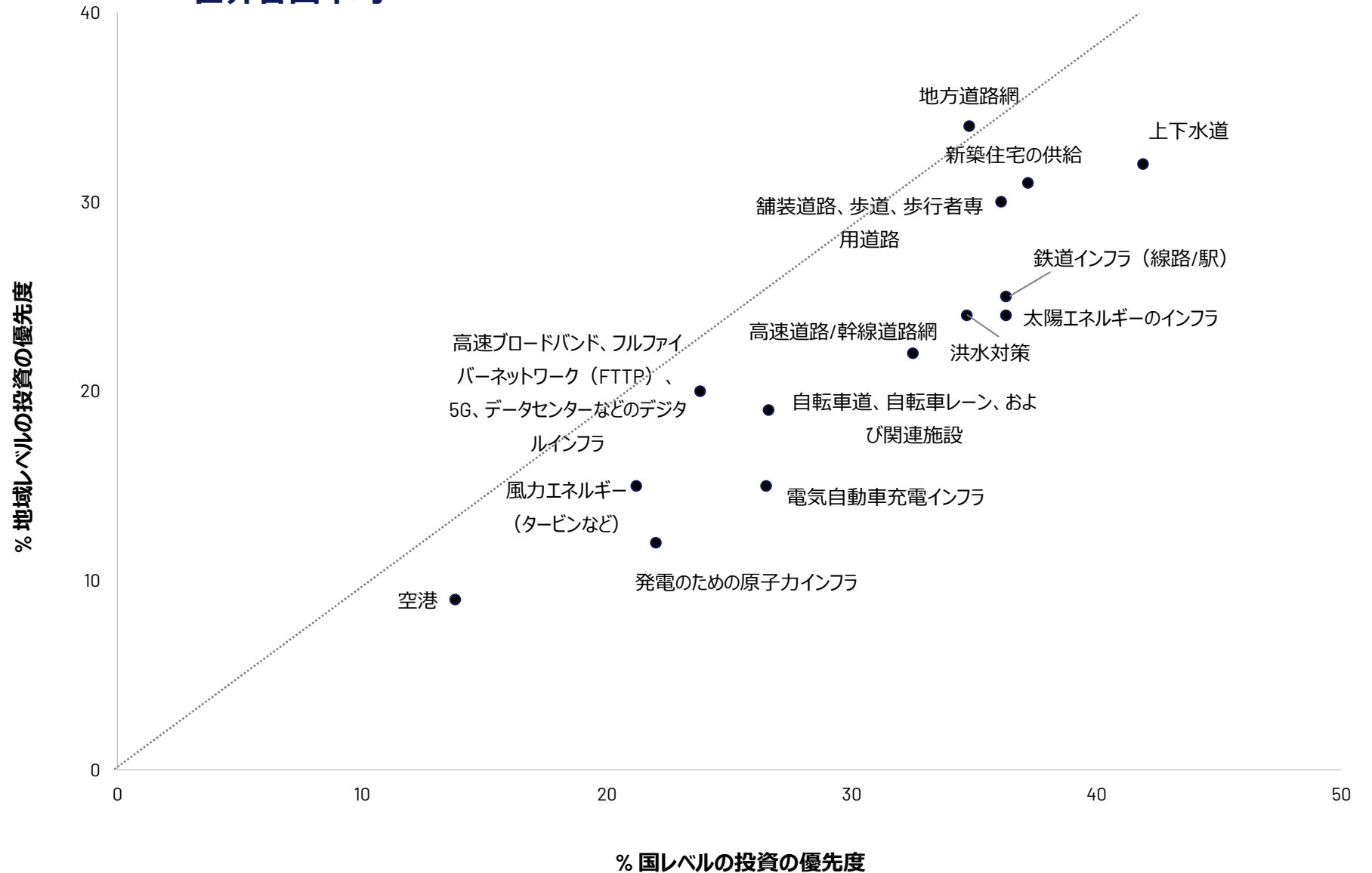


インフラへの投資は、地域レベルよりも国レベルの優先課題とみなされる傾向がある

Q. 以下は、先ほどと同じインフラの一覧です。これらのうち、あなたの居住するエリアや地域で投資を優先すべきものがあるとすれば、それはどれだと思いますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

世界各国平均



人々は、インフラの維持・保全や投資の必要性や効果については確信している一方で、増税による財源確保や、自国のインフラ整備の実行力については、確信の度合いが低い

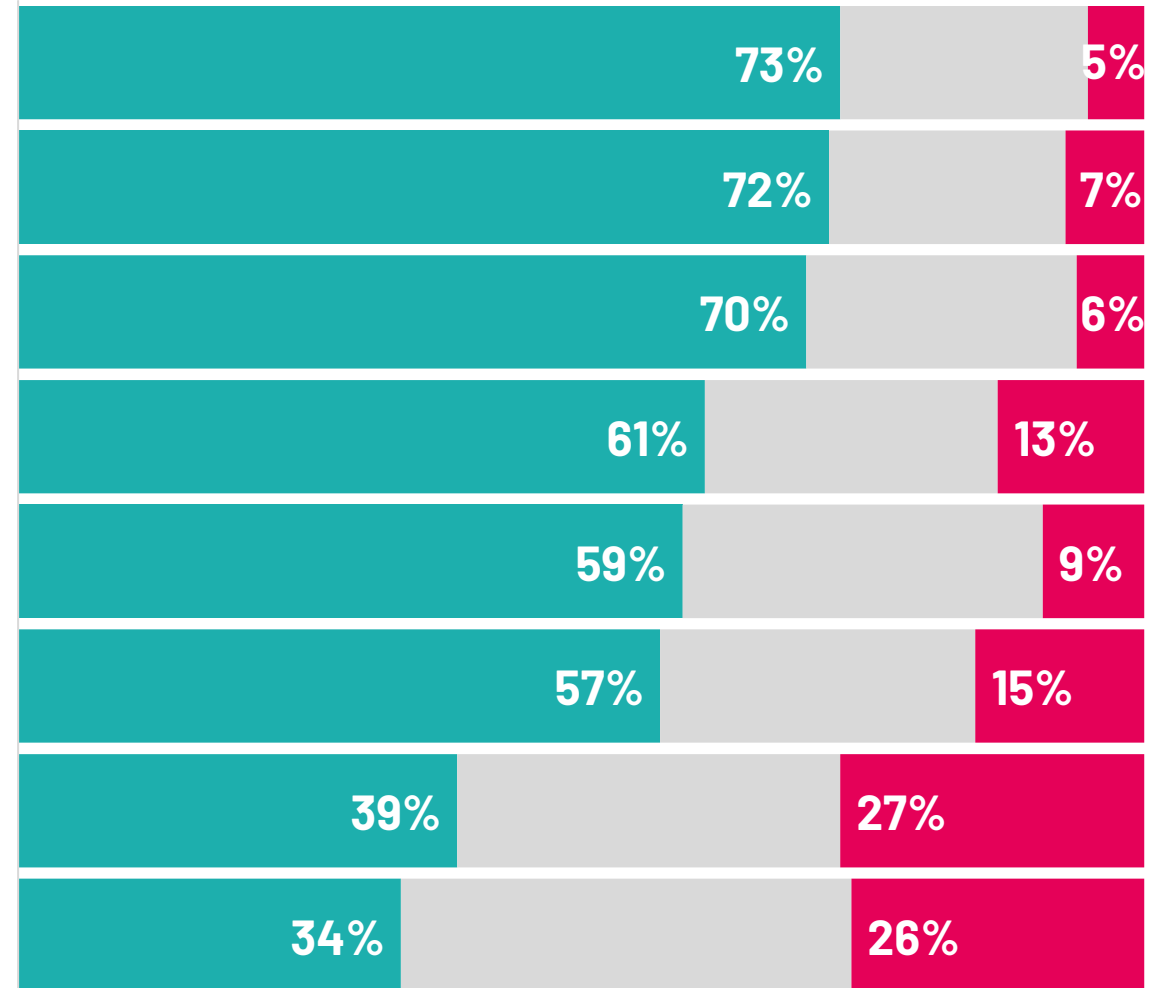
Q. 引き続きインフラ（道路網、鉄道網、空路網、電気や水などの公益事業、ブロードバンドやその他通信手段など、私たちが頼っているもの）についてお聞きます。以下の文章にどの程度同意しますか。

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月～5月

(同意率の順位)

- 自国の既存のインフラを維持・修繕することは、新しいインフラの構築と同様に重要である
- 自国のインフラへの投資は、新しい雇用を創出し経済を活性化させる
- 自分たちにとって必要な改善が得られるのであれば、民間企業が自国のインフラに投資しても問題はないと感じる
- 自国のインフラは、将来の気候変動に十分対処できるだけの対応をしていないと思う
- 自国のインフラへの投資は気候変動対策に重要な貢献をする
- 自国は、インフラのニーズを満たすために十分な取り組みを行っていない
- 消費者にかかる税金やコストが高くなるとしても、自国のインフラを改善するために支出を増やす必要がある
- 自国には、国内のインフラ事業を着実に進めてきた実績がある

■ まさに/どちらかと言えばそう思う ■ まったく/どちらかと言えばそう思わない

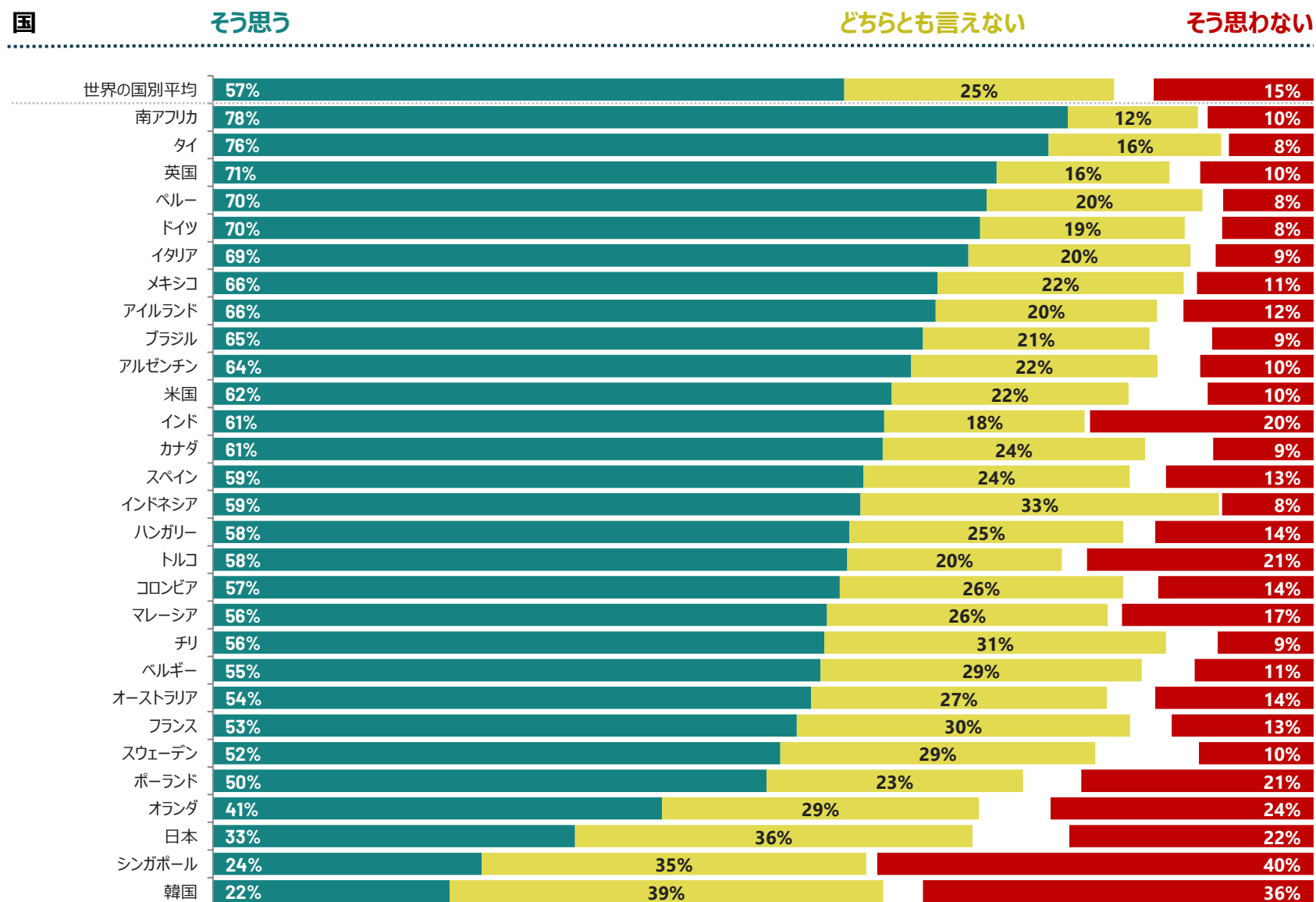


ほとんどの国で、自国がニーズに応えるための取り組みが不十分であることに、過半数が同意している

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国は、インフラのニーズを満たすために十分な取り組みを行っていない

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

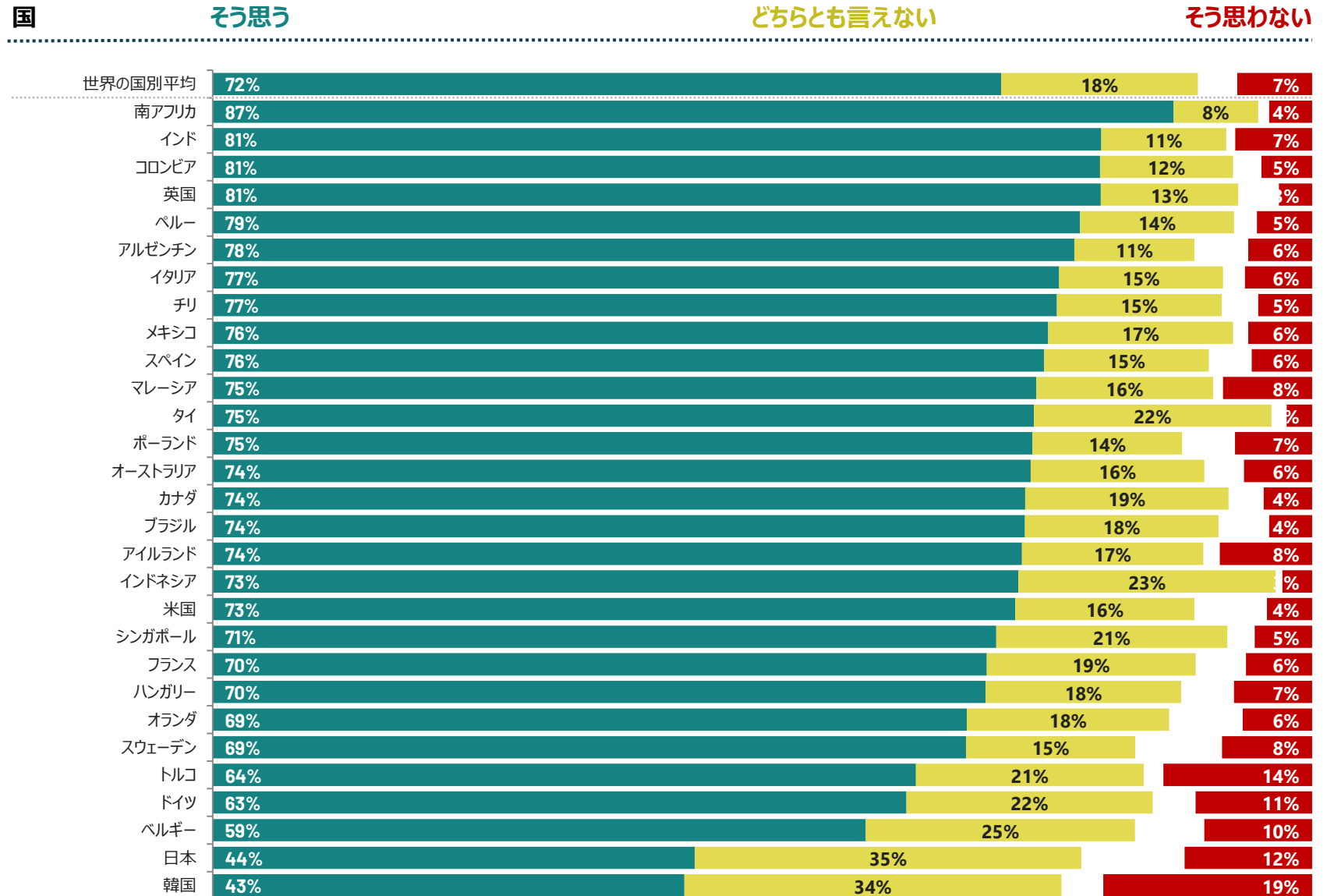


インフラへの投資は 経済的なメリットがあると 考えられている

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国のインフラへの投資は、新しい雇
用を創出し経済を活性化させる

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

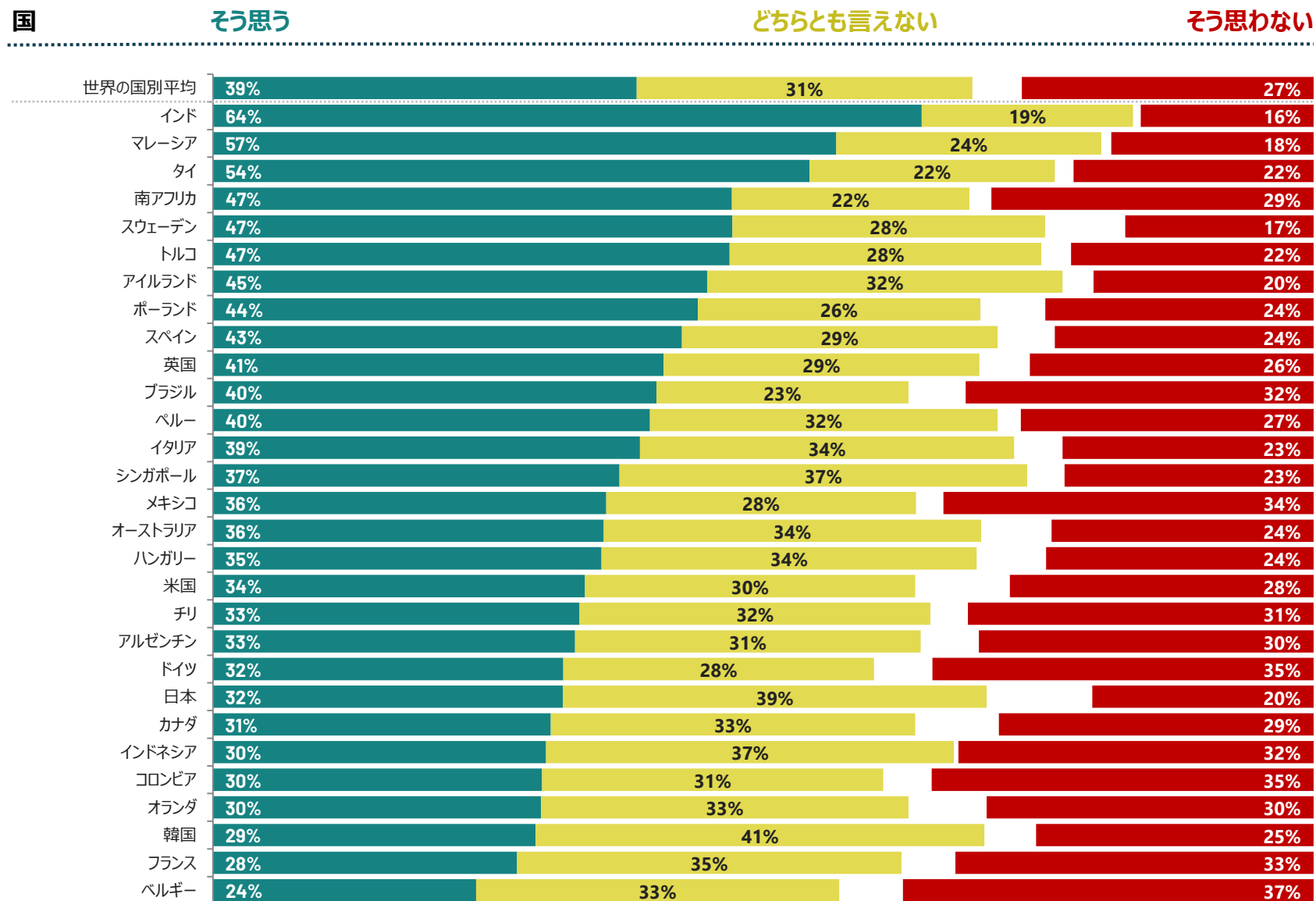


しかし、税金や費用の増加を伴うのであれば、支出を増やすことに賛成する人は少ない

以下の文章にどの程度同意しますか。

消費者にかかる税金やコストが高くなるとしても、自国のインフラを改善するために支出を増やす必要がある

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月～5月

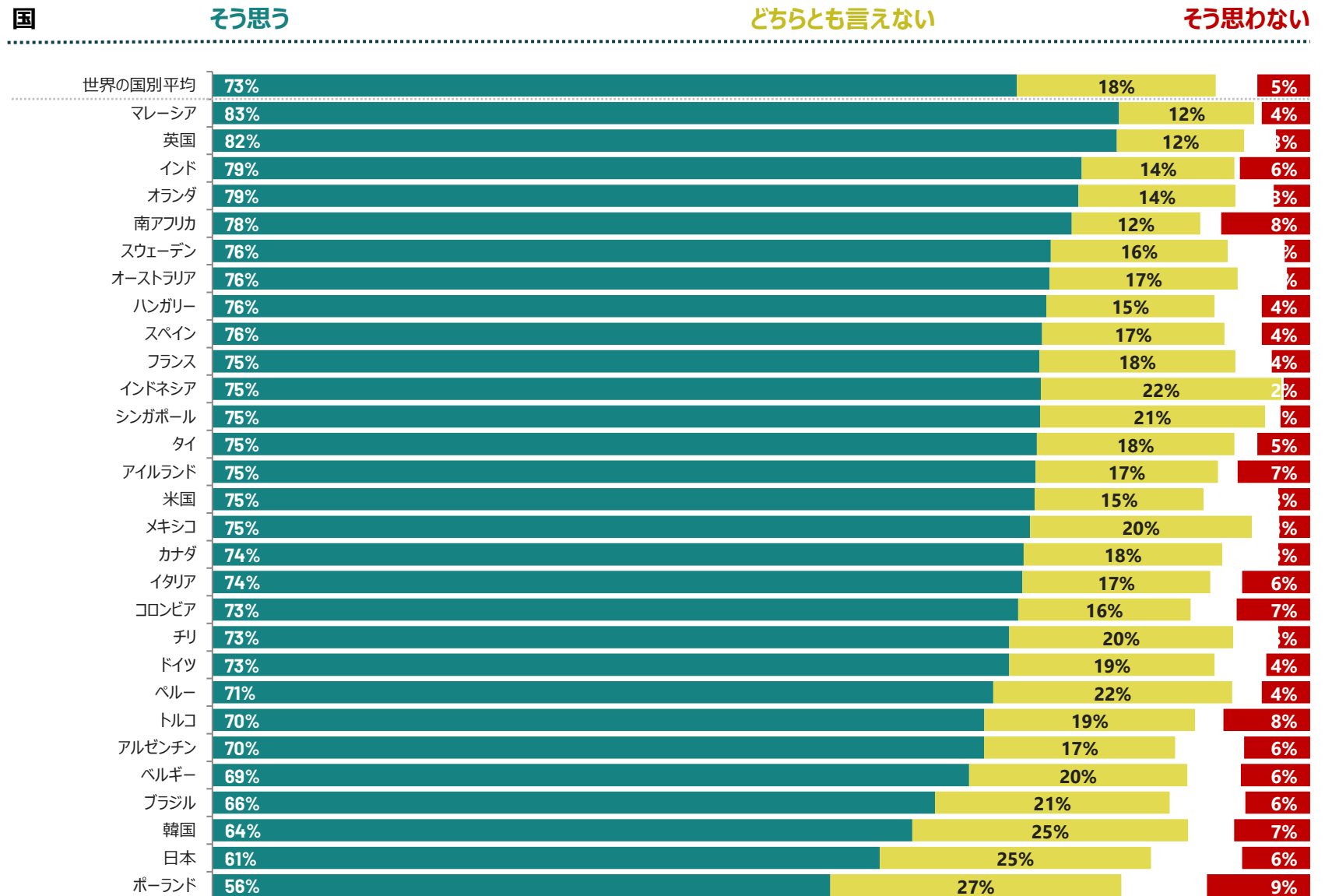


維持管理や修繕を、 新しいインフラの建設 と同じくらい重要だと 考えている

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国の既存のインフラを維持・修繕
することは、新しいインフラの構築と
同様に重要である

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

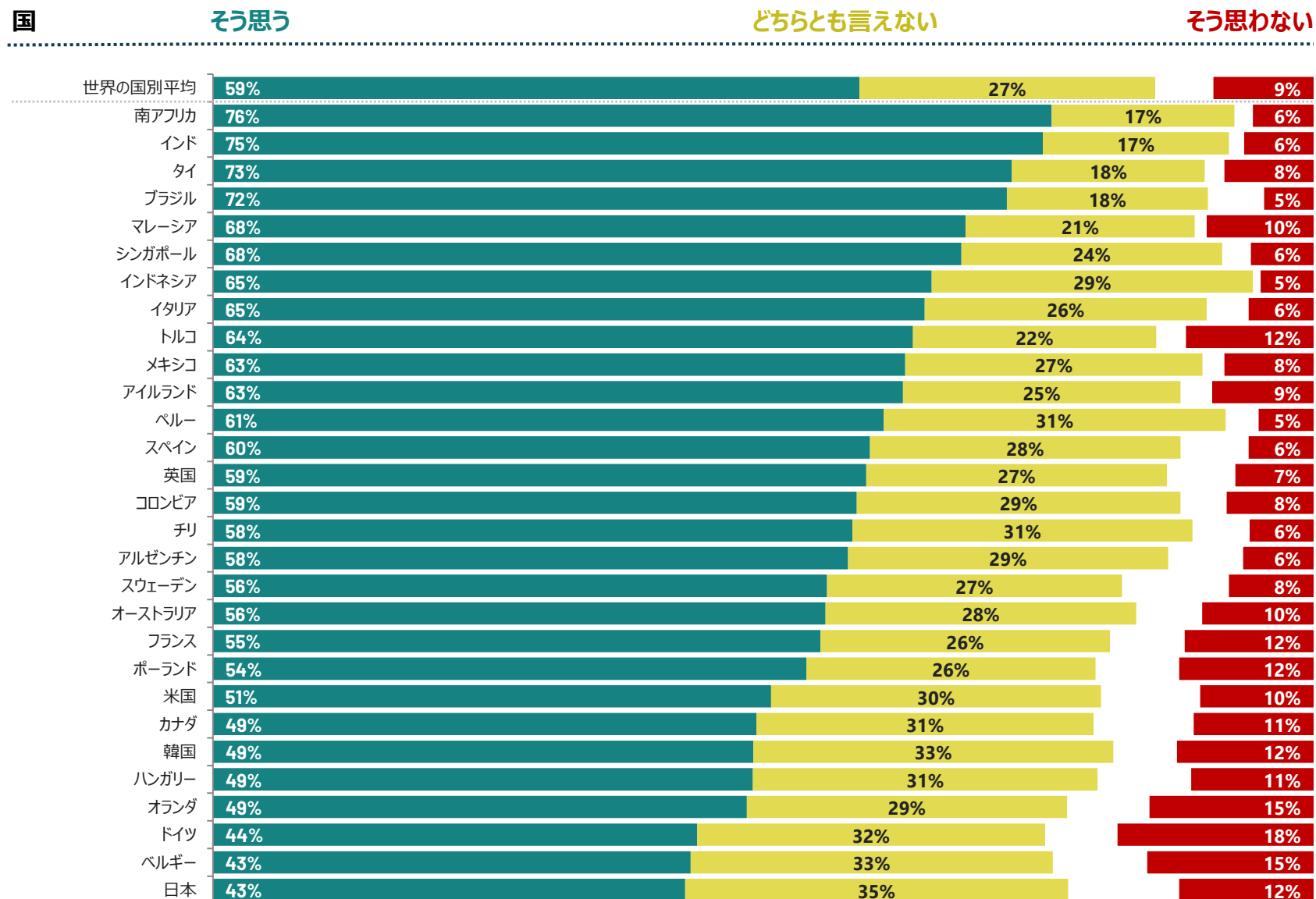


ほとんどの国で、インフラが気候変動対策に重要な貢献ができるという意見が過半数を占めている

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国のインフラへの投資は気候変動対策に重要な貢献をする

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

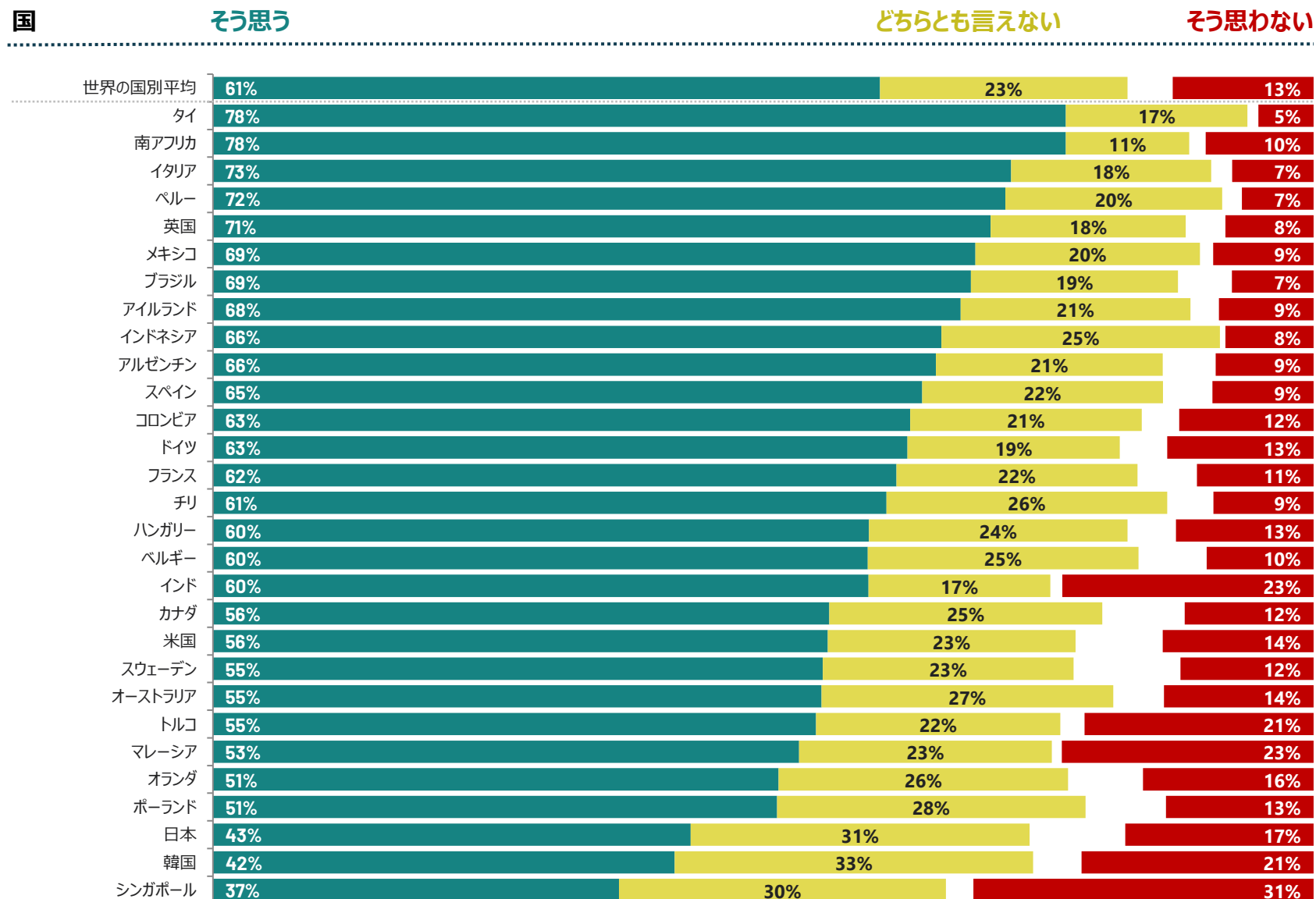


しかし、ほとんどの人は、将来の気候変動に対応できるように調整されているとは考えていない

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国のインフラは、将来の気候変動に十分対処できるだけの対応をしていないと思う

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

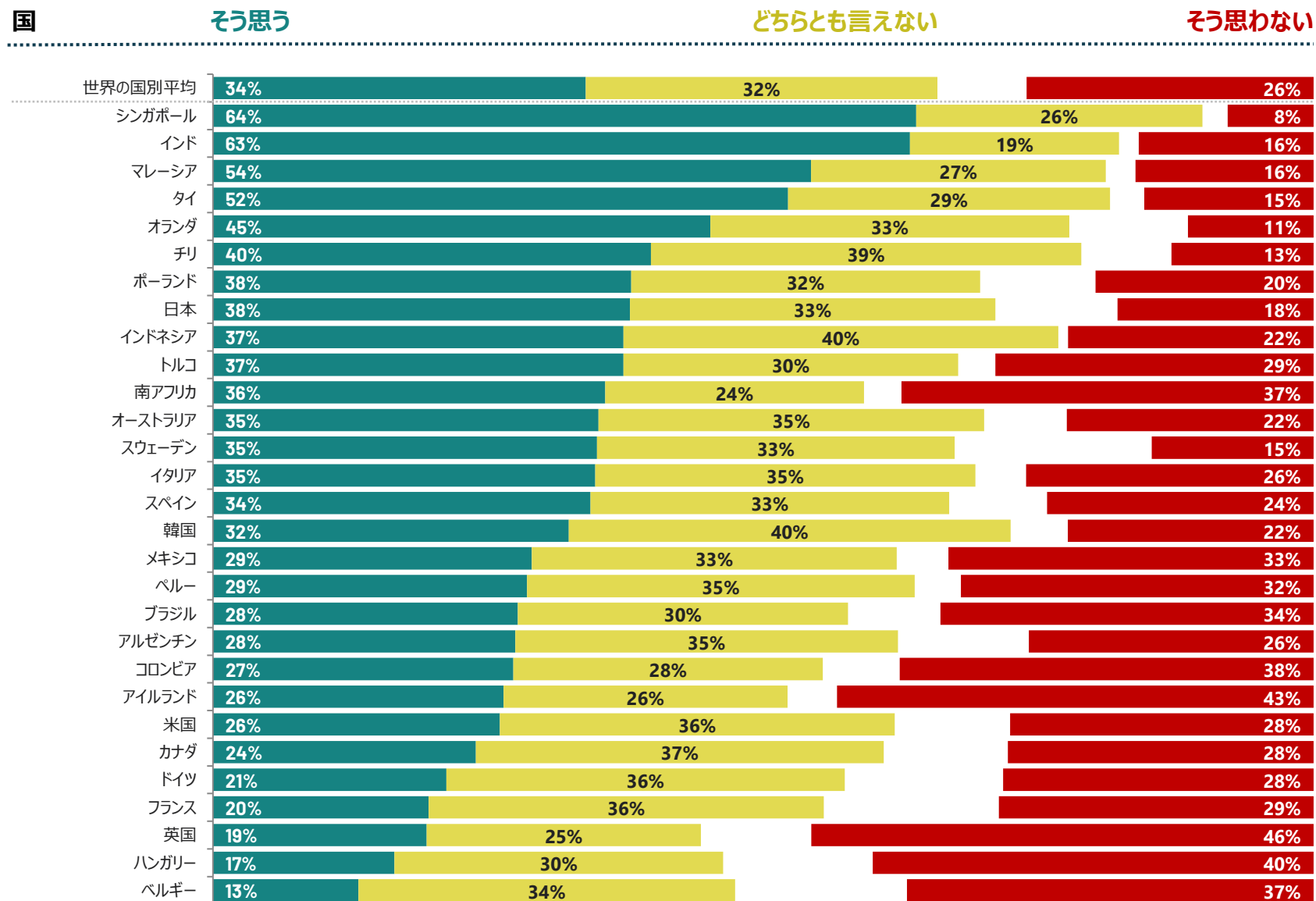


ごく一部の国を除き、 自国が成果を上げて いると考えている人は 少数派である

以下の文章にどの程度同意しますか。

自国には、国内のインフラ事業を着
実に進めてきた実績がある

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

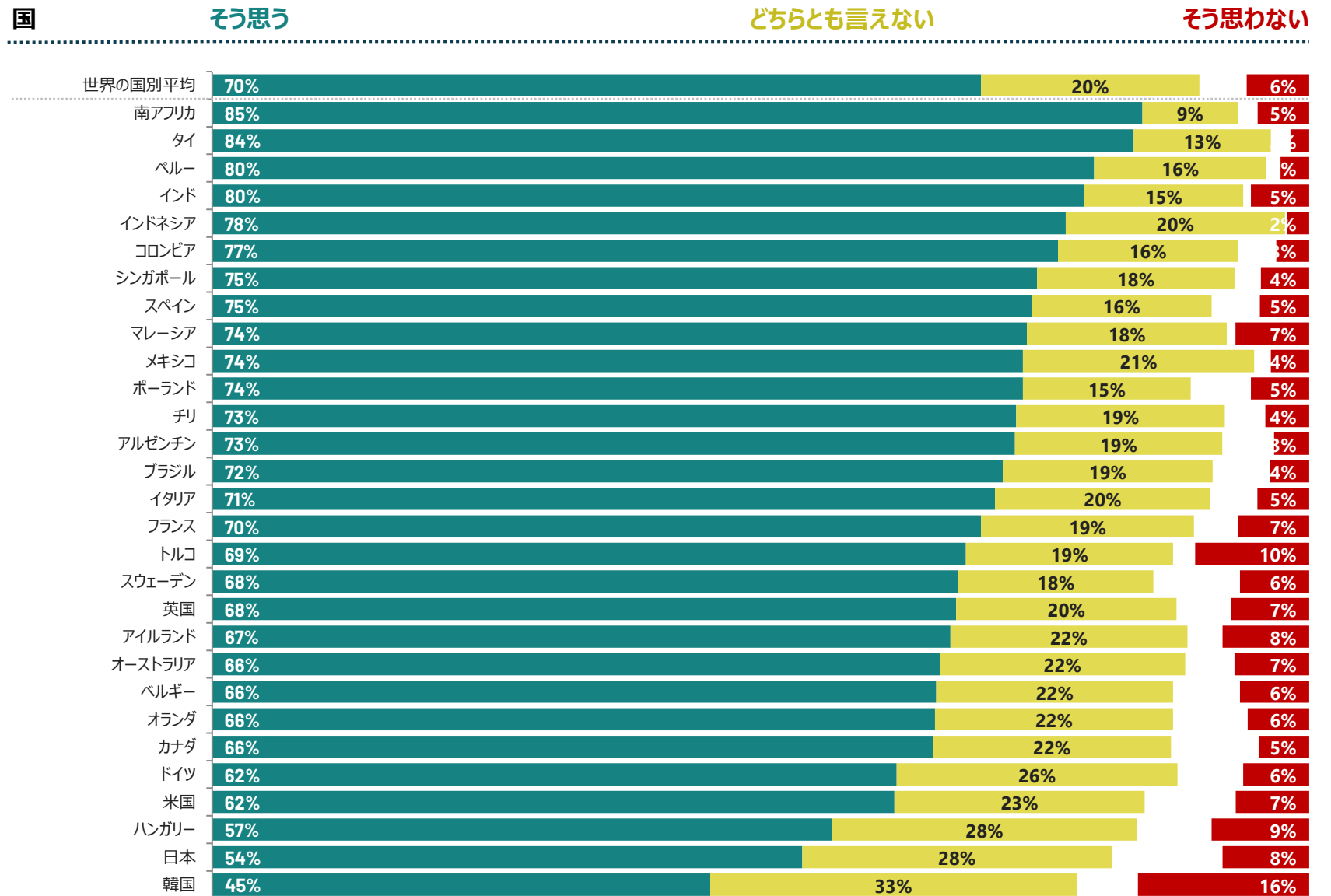


結果が出るのであれば、民間投資に賛成という人が大半だ

以下の文章にどの程度同意しますか。

自分たちにとって必要な改善が得られるのであれば、民間企業が自国のインフラに投資しても問題はないと感じる

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

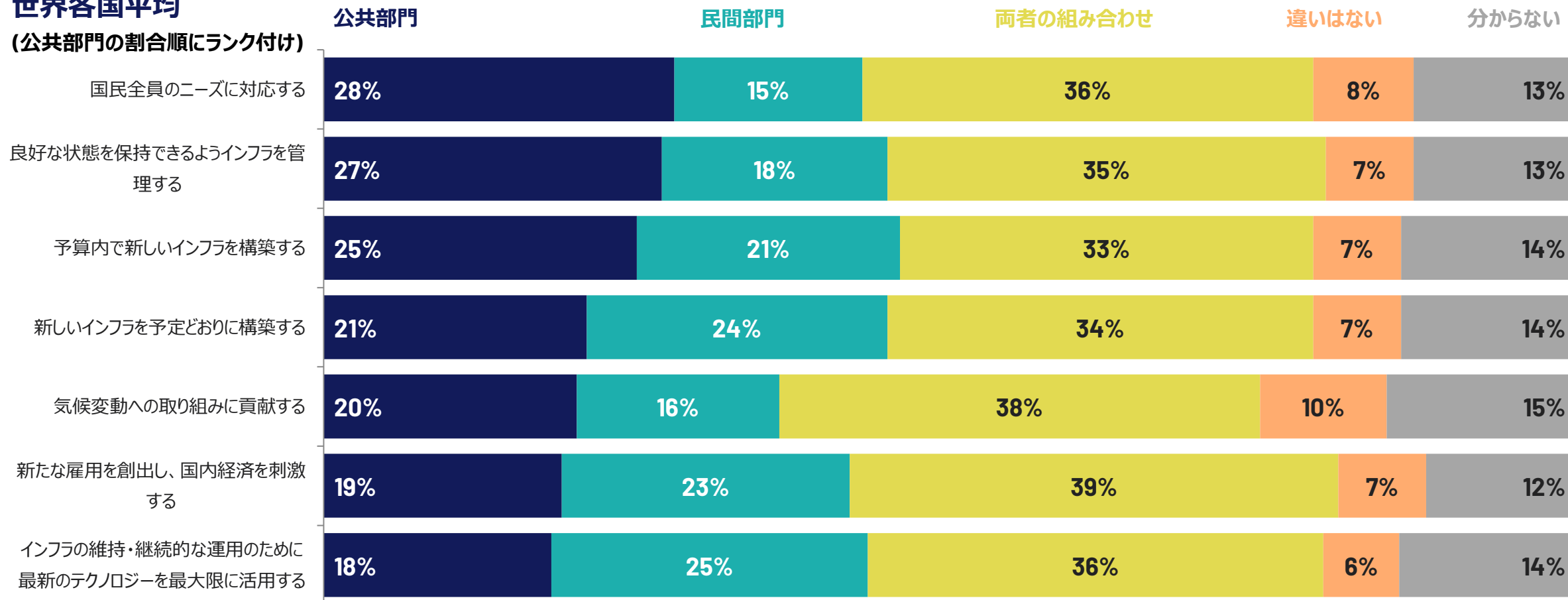


公共部門と民間セクターは、資金調達源としてそれぞれ一定の利点があると認識されているものの、両者に大きな違いはないとみる人が多く、両者を組み合わせる方法を支持する人も少なくない

Q. 次の主な資金調達方法のうち、以下を達成する可能性が高いものはどれだと思いますか？それとも、どの資金調達方法にも違いはないと思いますか？*

世界各国平均

(公共部門の割合順にランク付け)



対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、2026年4月~5月 出典: Ipsos/GIIA

Q(*全文): ご存知のように、インフラにはさまざまな財源から資金が拠出されています。公共部門からの資金としては、一般課税を通じて政府が集めた資金が使われます。また民間部門では、投資家、株主、年金基金、銀行ローンから集めた資金が使用され、インフラを利用する顧客に料金を賦課することで返済されます。次の主な資金調達方法のうち、以下を達成する可能性が高いものはどれだと思いますか？それとも、どの資金調達方法にも違いはないと思いますか？

*注: 「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。各国・市場の人口規模に合わせて調整されておらず、全体の結果を示すことを意図したものではありません。調査対象国の数は時期によって変化しており、2016年は26か国、2024年は32か国、2026年は29か国となっています。

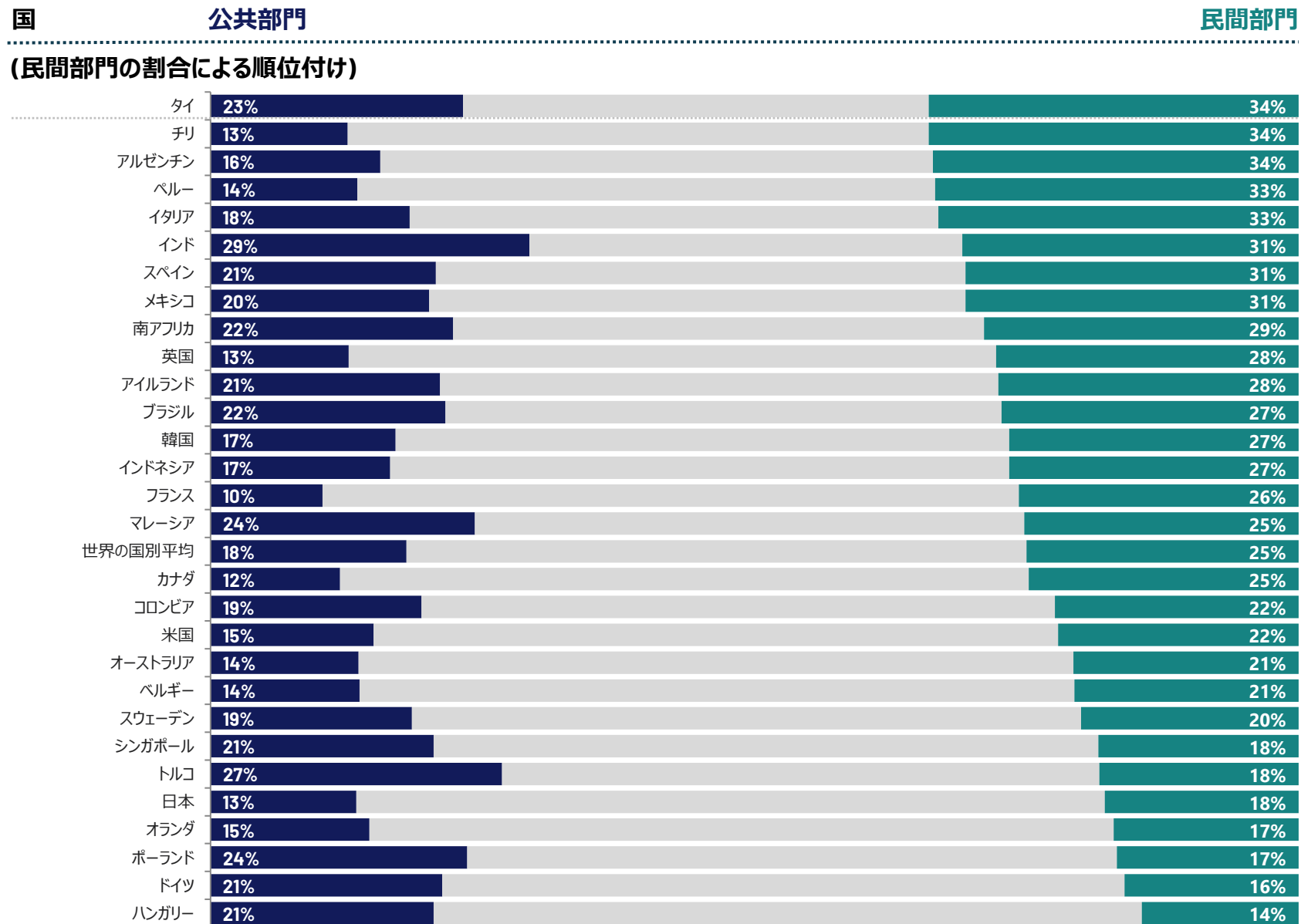


民間セクターは、テクノロジーを活用する上で比較的優れた源泉と見なされている

次の主な資金調達方法のうち、以下を達成する可能性が高いものはどれだと思いますか？それとも、どの資金調達方法にも違いはないと思いますか？*

インフラの維持・継続的な運用のために最新のテクノロジーを最大限に活用する

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月

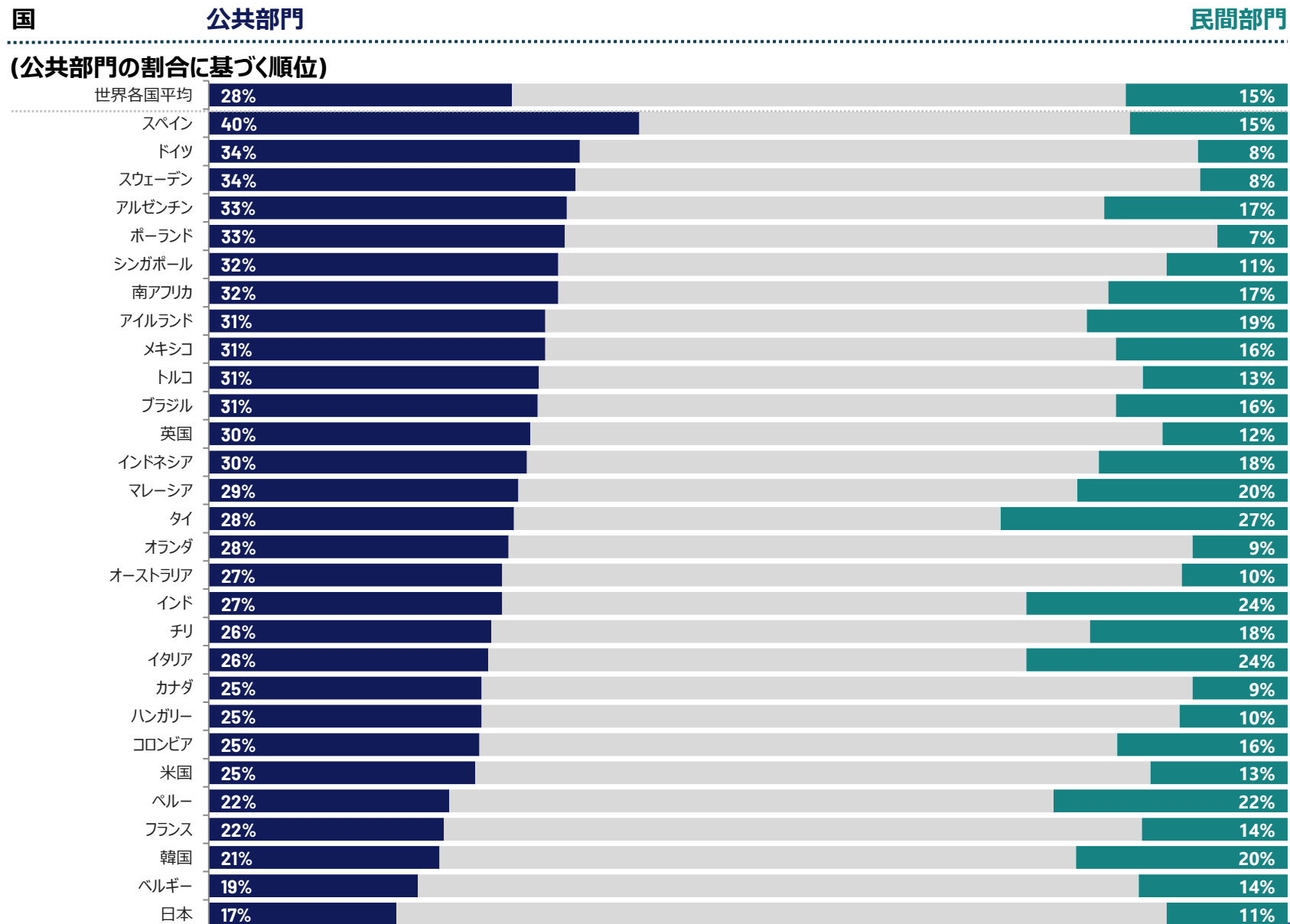


公共部門の強みは、 すべての国民に利益 をもたらすことにある

次の主な資金調達方法のうち、以下
を達成する可能性が高いものはどれだ
と思いますか？それとも、どの資金調達
方法にも違いはないと思いますか？*

国民全員のニーズに対応する

対象: 29か国の成人21,521名(オンライン調査)、
2026年4月~5月



付録



調査手法

本調査は、2026年4月24日(金)から5月8日(金)にかけて、イプソスが自社のオンラインプラットフォーム「Global Advisor」を用いて29か国を対象に実施した調査の結果です。本調査では、イプソスがインドでは18歳以上の成人、カナダ、アイルランド共和国、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国では18～74歳の成人、タイでは20～74歳の成人、インドネシアおよびシンガポールでは21～74歳の成人、その他のすべての国では16～74歳を対象に、計21,521名にインタビューを行いました。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、インド、インドネシア、イタリア、日本、スペイン、トルコ、米国ではそれぞれ約1,000名、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、アイルランド、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイではそれぞれ500名で構成されています。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、および米国の調査対象者は、75歳未満の一般成人人口を代表するものとみなすことができます。ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、およびトルコのサンプルは、一般人口に比べて都市部に居住する割合が高く、教育水準が高く、および／または経済的に裕福な層が占めています。これらの国々の調査結果は、その人口のうちよりネットに精通した層の意見を反映したものとして捉える必要があります。

データは、各国のサンプル構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の人口統計的プロファイルを最もよく反映するよう、加重処理されています。「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。これは、各国または各市場の人口規模に合わせて調整されたものではなく、全体の結果を示すことを意図したものではありません。

パーセンテージの合計が100にならない場合や、「差」が実際の結果より±1パーセントポイント多く／少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、あるいは「わからない」や「回答なし」の回答が除外されたことが原因である可能性があります。

イプソスのオンライン調査の精度は、信頼区間を用いて算出されており、サンプル数(N)が1,000の調査では±3.5パーセントポイント、Nが500の調査では±5.0パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

地域

地域 - 国および加重なしのサンプルサイズ

ヨーロッパ	北米	ラテンアメリカ	アジア太平洋	中東・アフリカ	G7
x11	x2	x6	x8	x2	x7
8,508	2,002	3,505	6,005	1,501	7,005
ベルギー	カナダ	アルゼンチン	オーストラリア	南アフリカ	カナダ
フランス	米国	ブラジル	インド	トルコ	フランス
ドイツ		チリ	インドネシア		ドイツ
英国		コロンビア	日本		英国
ハンガリー		メキシコ	マレーシア		イタリア
アイルランド		ペルー	シンガポール		日本
イタリア			韓国		米国
オランダ			タイ		
ポーランド					
スペイン					
スウェーデン					



(ロシア除外)

詳細情報はこちらまで
お問い合わせください:

www.ipsos.com

<https://giia.net/>



ben.marshall@ipsos.com

lewis.hill@ipsos.com



VBenn@giia.net

